

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーのメッセージ

よいことのために手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

写真提供：関家周二会員

Rotary  倉敷南ロータリークラブ

国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 3017 例会 R. Song 「四つのテスト」 天候：晴れ No.3017/2025. 10. 17

Guest なし Visitor ロータリー米山記念奨学生 ファム トゥイ リン様

出席 会員数 60 名（うち出席規定免除者 15 名㊤2 名㊤13 名）

10/17 の出席率 66. 67%（出席者 34 名、内㊤6 名）

欠席 青井、神先、小林、松村、三宅(典)、三宅(繁)、中川、中西、沼本、関家、
下山、滝川、和田(務)、渡辺(英)、渡辺(清)、山田、横田、各会員（17 名）

●浅見会長

- ・＜会長の時間＞今週は個人的に嬉しいことが2つありました。1つは、パレスチナ自治区のガザ地区でイスラエルとハマスの停戦が実現した。第一段階であり予断を許さないが平和が続くことを切に願います。2 つめは、キリンチャレンジカップでサッカー日本代表がブラジル戦3対2で勝利。サッカー日本代表がブラジルに勝利したのは史上初。来年はWBC、冬のオリンピック、サッカーワールドカップなど楽しみなスポーツイベントが続きます。
 - ・日本経済新聞にも前例無き500日間を迫うという記事が掲載されたが、日本製鉄がUS スチールを買収した。アメリカ政府、トランプ大統領を相手に最後まで完全子会社化を諦めずにやり遂げたところには感心した。NHK BS の対談で元WBC 監督の栗山さんから「構造改革を行い業績は右肩上がり、一息ついてもいいのになぜこのタイミングで大きな勝負に出たのか？」という質問に対して、「企業は成長無くして存続はない。成長しなければ全てが負の連鎖になる」と橋本会長が答えた事が印象深い。優れた経営者の資質は何か？と考えた時「末筆の綴り」の寄稿で、大手都市銀行の頭取を務めた人が、取引先が経営危機に陥った時どういう人選をするかと質問された時に「運の強いやつ」と答えたそう。経営者にとって運が大事、ロータリアンの皆さんも強い運をお持ちだと思う。
 - ・10/31は11/1の65周年に振り替えて、17:00開会、15:00からリハーサルを行う。
- 幹事報告（横道幹事）：米山記念奨学会より資料が届いております。他来信5件

●65 周年（桐野実行委員長）：いよいよ 11/1(土)に 65 周年式典が執り行われます。今日物故会員の追悼法要を蓮花院で行います。記念事業は、水島図書館に約 260 冊の本を寄贈し10/31に式典があります。関係者の皆さんご出席をお願いします。

●スマイル報告（土井 S.A.A）※紙面の都合上、同じ内容の場合は取り纏めております。

- ・浅見会長、田島副会長、土井 SAA、横道幹事、石田プログラム委員長、山本(由) 米山カウンセラー、山本(真)、田淵、各会員：①米山記念奨学生ファム・トゥイ・リンさんの来訪及び卓話を大変楽しみにしております。
- ・馬場会員：①10/18～19 美観地区で倉敷屏風祭りが開催され、阿知神社、上島提灯、アヴェニュー、倉敷物語館に倉敷芸術科学大学の日本画ゼミの先生や学生の屏風作品が展示される予定です。「はしまや」さんには森山知己先生の作品が展示されます。②10/25～26 倉敷芸術科学大学の芸科祭(げいかさい)があります。学長、副学長もわたがしのお店を出します。お時間合いましたら、お立ち寄りください。
- ・柳沢会員：社会人野球の日本選手権大会が 10/28 に始まります。JFE スチールは 10/29 北海道ガスと 1 回戦を戦います。皆様の応援、よろしくお願いします。

●プログラム卓話「米山月間に因んで」

＜ファム トゥイ リンさん＞

- ・ベトナム出身、くらしき作陽大学在学、2024 年 4 月米山記念奨学生に選ばれた。
- ・日本の食文化、栄養学、食品衛生を学びたいと思い 2019 年に来日。将来は安心安全なお店を出す事。ベトナムでは食品安全性の問題があり日本で学ぶ事が多い。
- ・現在ベトナムの伝統的なサンドウィッチ「バインミー」をキッチンカーで販売している。活動を通じて国際交流・地域との交流を広げたいと考えている。
- ・ロータリーの精神である「UNITE FOR GOOD」は国や文化を超えて、手を取り合って良い社会を築いてく事、相手を理解し尊重し希望を共有していく事。私もロータリーに入り希望をもらい、挑戦する力を頂いた。
- ・ゼロから「バインミー」の事業を始めたが、失敗も多く学ぶことが多い。お客様の笑顔や励ましを受け、今では大きなイベントに参加するようになった。この活動ができるのもロータリー、ロータリアンの皆様のおかげ、感謝しかありません。
- ・将来は食を通じて日本とベトナムの架け橋になりたい。ロータリーの精神、助け合いの精神を大事にし、自身も社会の一員として貢献をしたい。

＜米山記念奨学会について 岡 米山記念奨学委員長＞

- ・米山奨学会はカウンセラー制度が特徴。奨学生をサポートする仕組みがある。
- ・1952年 東京ロータリーが米山基金を発案。5～6年後に全国34地区のRCが賛同し募った寄付によって米山奨学会ができた。当クラブは6名の奨学生を育成してきた、今後とも寄付をよろしくお願いします。

例会プログラム予定：11月1日(土)17:00～「創立65周年記念・第49回OBOG会合同例会」
倉敷アイビースクエア/11月7日(金)卓話①クラブ年次総会 ②国際奉仕について 流田委員長